

英語科 授業づくり講座 No.3

【教材研究会】 8月27日南国市立香南中学校

発行
令和元年10月3日
中部教育事務所

今後の予定
10月31日(木) 13:10~16:45
授業研究会



授業者

笠井由加里教諭、北裕子教諭
豊永信子主幹教諭
チェリッシュ・ワーデン先生 (ALT)

単元

Program 7
The Wonderful Ocean
Sunshine English Course 1

単元計画

(全9時間)

- 第1次 目標の設定⇒基礎的な知識・技能の習得
単元ゴールを理解し、学習の概要をつかむ。
- 第2次 目標実現のための言語活動⇒言語活動の見直し
- 第3次 目標実現のための言語活動⇒振り返り
パフォーマンステスト

育成する能力

「話すこと〔やりとり〕」イ
日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。

「書くこと」イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

CAN-DO リスト形式の学習到達目標

日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。

中心となる言語活動

伝えようとする情報や気持ちを整理し、メモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。日常的话题について簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。

提案授業のポイント

視点 再構築を促すための明示的な指導となっているか。

山田誠志教科調査官より助言

高知の子供達に 確実な英語力をつけよう！ 授業が本丸！

全国学力・学習状況調査の結果が英語教育の成果だとは思ってない。でも、結果は結果。子供の切実な願いに応えるためには、これから授業を変える必要がある。

よい授業をして子供に力をつける。結果的には平均正答率は上がっている、という状況にしたい。そのためにも、よい授業から学び合うことが大切。

今日の研修でいいなあと思ったことは、即取り入れて授業でやりましょう！！

子供の誤答は宝物！

解答用紙は宝の宝庫！

子供の誤答を教材として使わせてもらって全員に考えさせる。解答用紙は何を指導する必要があるのか教えてくれる。コピーをして眠らせてないですか？

言語材料はその単元だけで勝負しない！系統的、計画的に！

単元で必要な言語材料は前もって出していく。小学校でも同じ。過去形を扱う We Can! 2 の My Summer Vacation は、夏休み明け頃に指導する。でもゴールデンウィーク明けには I went to~. I ate~. などを使わせたい。言語活動に必要な言語材料は教科書に出てくるのを待たずに先行して導入する。そして扱い続けることを大切にしましょう。

見方・考え方を育成するための明示的な指導って？

「見方・考え方を働かせる」とは、目的・場面・状況等に応じて適切に伝えるために、「何を話そうか」と内容について考えたり、「どう伝えようか」と言語材料(英語)について考えたりする行為のこと。そういうときにエラーが出る。そんな生徒のエラーがどんどん出る言語活動を行うこと。そのエラーをもとに、教師が質問したり、語順カードを示したりして、誤りに気付かせるなど明示的指導を意図的・継続的に行う必要がある。

「ボランティア活動でゴミを拾う」と伝えるとき、「trash pick up」と言われても、単語を知っていれば理解できるが語順の違いは通用しない。「trash pick up じゃなくて何て言えればいいんだろう」と考えているときに見方・考え方が働く。でも子供がその英語が通じると思っている場合には、見方・考え方を勝手に働かせることはない。そこを Who picks up? と質問したり、語順カードを示したりしながら、意図的に見方・考え方に気付かせ、「何て伝えればいいんだろう」と子供自身が考えるような明示的指導を行いましょう。





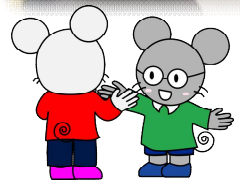
いつも指導案や公開授業以外にたくさんのお土産を準備して下さる笠井教諭。
今回は単元をつないで資質・能力を育成するアイデアや、言語材料を効果的に長く扱う具体例を教えてくださいました！



それって、こう言いたいのかな？



これって英語でどう言ったら通じるんだろう。



小・中の教員みんなで考えれば、アイデアも学びもたくさん！！



参観者より

🌀 語順カードは常に掲示しておく、Talk and Report は帯でやりま
す！（定着が弱いので）

🌀 言語活動の繰り返しの大切さ、その後の教師の指導により深い学
びに導くことの必要性を感じました。

🌀（言語材料を）単元にしばられずに前倒しで行ったり、あとの帯活
動でも長期的に指導したりすることを、2学期の教科会で考えていき
たいです。

🌀「再構築を促すための明示的な指導」とはどのようなものか理解で
きたように思います。書く力を言語活動と指導を繰り返しながらど
のようにつけていくかアイデアを頂いたので取り組みたいと思います。

🌀教科会での悩みを解決できるエキスをたくさん頂きました。小学
校との接続を考えて複数単元で捉え繰り返し学習することや資質・能
力ベースにおける見方・考え方の捉えを再確認できました。チーム英
語で頑張ります。

🌀模擬授業や協議、講話を通して、明示的指導とその手法について学
ぶことができました。黒板に掲示し、子供自身が自ら気づき、直すた
めの手立てを考えることが大切だと学びました。（小学校教諭）

🌀中学校における言語活動を通した指導にも小学校と共通の部分が
たくさんあると感じました。中学校での学習につながることも意識し
て、特に「聞く・話す」における言語活動をさらに充実させたいです。
（小学校教諭）

🌀笠井先生の系統的、継続的な指導の実践、山田調査官の講話から、
1つの単元で指導するのではなく、長い目で見て、系統的・継続的な
指導をしていくことの重要性を感じました。意識して授業づくりをし
ていきたいと思っています。（小学校教諭）

🌀私、実践中！（本講座で学んだこと）🌀

- ・単元ゴールに向けて、テーマを変え、レベルを上げながら、繰り返し表現させている。
- ・単元の中だけでなく、単位時間の中でもラウンド1、ラウンド2と言語活動を繰り返し行っている。
- ・語順カードを作成し、生徒が常に見られるところに掲示している。2、3年でも有効！
- ・フィードバックで生徒に気付かせ考えさせながらミスの修正や良い表現などの共有を行っている。
- ・「言いたいのと言えなかったこと」の時間は言語活動後に必ずとっている。効果大です！！
(小学校教諭)

次回はよいよ最終回！！

指導が入らないやらせっぱなしの言語活動で終わっていませんか。言語活動の後の効果的な指導方法についてお困りの先生方、香南中には是非お越しください。高知の子供達の未来のために是非一緒に学びましょう。

10月31日（木）13:10～16:45
場所 南国市保健福祉センター